

PRO-LIFE

中絶に反対する運動

1999年11月 No.109

胎児を守る運動

拒否せず、殺すな

私達は中絶してしまった女性達を愛している。教会は彼女達の事を思っているし、許しているし、癒してあげるし、彼女達と神、彼女達と彼女達の子ども、そして彼女達と彼女達自身との間に、幸せをもたらす。教会は、中絶を経験した全ての女性に、自分の罪を後悔する気持ちを持って私達のところへ来れば、暖かく迎え許してあげてくれる約束している。

しかしそのことは、基本的な事実を否定するものではない。それは、どんな中絶でも子どもを殺すことになるという事実である。どの中絶も、小さな、無防備な人間の命を終わらせてしまう。どの中絶も、心臓の鼓動を止めてしまう。この事実を否定しても、私達にはなんの得にもならない。実際、私達の罪がいかに大きいかわかった時だけ、神の慈悲のすばらしさを心から感謝できるのである！

なり、中絶反対の立場として強くなくなってしまふ。

中絶は、それが無実な子どもを殺す人であるから間違っているのである。殺人は、決して正当化できない。この世界にはあまりにもルールの中に例外がありすぎて、今日では「決して」という言葉は実感できなくなっている。しかし中絶についての教えを理解するためには、「決して」という言葉を理解し、熟考しなければならぬ。子宮の中の無実な赤ちゃんを殺すことは、決して許されない。それは、どんな状況であつても間違っているという意味である。中絶が許されるケースを考えてみても、一生かかつたつて答えは一つも出ないだろう。

ほとんどの人は中絶反対だが、その中の多くの人は、例えばレイプのようなケースに、いくつかわれ外を認めるだろう。ここではそのケースについて考えてみよう。レイプが女性に対するひどく不正な権利侵害で、レイプされた女性に私達の気遣いとケアが必要なのは、皆が認めることである。女性達は社会にこの犯罪から守ってもらつた権利があるし、もしレイプが起つてしまつたら、その女性は癒されるために社会の助けを受けて当然である。しかしすべ

てのレイプの中で妊娠してしまうケースは稀で、中絶の理由としてもレイプが原因であるのはとても少ないのである。これまでの全ての中絶の内、レイプが原因だったのは1%をはるかに下回る。

しかし事実上、このようなレイプの場合でも、中絶は間違っているということがある。中絶が許されない理由は赤ちゃんを殺すからである。赤ちゃんがどのように宿されたかによって中絶しても良い訳ではない。赤ちゃんが殺されることに変わりはないのだから。だから中絶は決して許されない。中絶したからといって、その女性がレイプされなかつたことになる訳ではない。「その子はどうかやつてきたのか？」と考えるだけでなく、その前に「それは何であるか？」と考えるべきである。何故ならそれは子どもであつて、殺されるべきではないからである。更にその子は無実である。その子が犯罪を犯した訳ではない。何故父親の罪のためにその子どもが死ななければならぬのか？レイプは暴力である。中絶も同じく暴力である。私達はその両方に「ノー」と言ふ。

とつて、将来苦しむことが問題であるなら、そしてその将来の苦しみを子どもを殺すことによつて消し去るつというのなら、何故子宮の中にいる内に殺した方が、生まれて一日経つてから殺すよりもいいと思つたろうか？それは人を殺すという同じ行動ではないか！ある女性がある時、貧しい子ども達が海岸でかめをと食べ物を取り合ひして戦つてのを見て、中絶に賛成すると言つたことがある。もしその女性が、その子ども達が殺されてしまつていれば良かったと言つたら、その子ども達がその海岸で殺されればいいと言わないのはおかしいではないか。ふたつは全く同じ論理なのだから。

そして、大切なことは、私達は皆人間なのだから、中絶は全員が考えるべきことである。女性だけの問題ではない。人間ひとりひとりの問題である。自分は男だから中絶に関しては言うことがない、などと言つてはならない。あなたは妊娠する事はないかもしれないが、殺人が間違っていることは知つているだろう！あなたは人間であり、すべての人間は、命が危険にさらされている他の人間の為に立ち上る義務を持つてゐる！すべての人が女性ではないが、すべての人は生まれる前の子どもだつた！すべての人が妊娠するということがどういふことか知つている訳ではない。しかし私達は同じく、生まれる前の赤ちゃんの、中絶医のナイフで小さく切り刻まれてし

まう気持ちもわからないのである。

皆さん、中絶に強く反対しよう！場合によってはなく、常に、命を守っていきましょう！中絶のほとんどのケースで反対するのはなく、すべてのケースで反対しよう！私達は言葉だけでなく、行動で100%中絶に反対しよう。中絶手術を受けることだけが悪いのではなく、中絶を勧めたり促したり、又は中絶に賛成するようなことを口にするだけでも間違っているのである。

あなたは幼児虐待について、少しでも肯定的な意見を言うだろうか？同じように私達は生まれる前の赤ちゃんを殺すことについて、肯定的なことを言うてはならないのである。

私達中絶反対の者には、中絶を支持している力は強く見えるかもしれない。確かにその力は強いが、彼等は間違っている。最後には真実が勝つはずである。中絶反対者は勝利を得ることになる。何故ならキリストが復活され、彼は死よりも強く、中絶よりも強いからである！私達は恐れずに前に進み、子ども達と母親を愛し、共に立ちあがり、命の勝利を宣言して前進しよう！

日本にもつと赤ちゃんを？

人口の減少を避けるには、日本の女性達は平均2・1人産まなければならない、と人口統計学者達は言います。「これはまさにゆゆしき状況です。」と三和研究所の古参の経済学者である、イワサキ ケイスケ氏は言い、「出生率の減少傾向を止め、急な人口の減少を避けるには、早く手を打たなければならぬ。」と続いています。

日本の経済企画庁は、晩婚と

独身者の増加が、国の出生率の厳しい落ち込みの主な原因だと報告しています。

家族への価値観、費用がかかり競争の激しい教育制度、貧しい住居事情や労働事情も、出生率を下げています。二〇二五年には1・8まで又上がるかもしれませんが、出生率は何十年にもわたって下がり続けるでしょう。

日本の総人口は二〇一一年に、現在の一億二千四百四十万人から

ら最高の一億三千万人まで上がる、と日本経営者団体連盟の古参の研究者は、言っています。

急激に進む高齢化社会に、社会福祉制度がどの様に取り組んで行けるのか、と世間の懸念は高まっています。「納税者のお金でまかなっている国民年金基金は、日本が高レベルの経済成長を保てなければ、崩れてしまうでしょう。」とイワサキさんは言います。「充分な労働者の数がなくて、高い経済成長を維持するのは簡単ではありません。」

(1995年2月6日、ロイター)

なぜ中絶反対グループは避妊に反対しなればならないか

私達一人一人が認めなければならぬ基本的な真実が、この人生には二つある。

- 一。神の存在
- 二。まわりの人間は私ではないということ

これらの教訓を理解することは、なぜ中絶は間違っているのかを理解することである。神だけが、人間の命の支配権を持っていらつしやる。「私たちのうちのだれも自分のために生きる者ではなく、自分のために死ぬ者もない。」(ローマ人への手紙 十

四：7)

それは同じく、避妊が間違っている理由でもある。人の命は妊娠で始まることは判っている。しかし神による人の命への支配権は、妊娠から始まるのではない。無限の過去に始まっている。

「神は世の創造以前から、キリストにおいて私たちを選び、」(エフェソ人への手紙 一：4)

「おまえを胎内につくるより先に、私はおまえを知っていた」(エレミア書 一：5) 私達がここに

私達を選んで下さったからである。人間の意思で妊娠を妨げようとすることは、神の持つ人間の命への支配権を侵害することになる。

「避妊」が「中絶」を意味しない限り、これはもちろん中絶という神への侵害とは別の侵害である。中絶は人の命を殺してしまつ。それに対し避妊は人間の性行動の意味を歪めてしまつものである。両方とも、神を人間の生殖と生命のプロセスのすべての支配者だと認めていない点で、

神に罪を犯している。

カップルが子どもを持つべきではない状況もあると認めるのはもちろん正当である。それは医学的、社会的、経済的、心理的、又は他の理由からかもしれない。神の支配権を認めるということは、軽率に行動するということではない。自然な家族計画は正當なものである。しかし家族計画する時、カップルの一人がインシアティブをとってしまつて、性の和合の意味を壊してしまうようなことはしてはいけない。自然な家族計画では、身体が受精しない日がめぐってくるサイクルを使って、神が生命誕生への扉を閉ざすのである。しかし避妊においては、扉を閉ざすのは私達人間である。私達にはそんな権限はない。

聖書では、子ども達は祝福であるとはつきり言っている。「若い時の子らは、つわもののある矢のようだ。」(詩篇 一二七：4)又、聖書は、人生を安心して歩む為に、私達はすべての疑いや恐れを神の手にゆだねなければならぬともはつきり言っている。「心を騒がせることはない。神を信じそして私を信じよ。」(ヨハネによる福音書 十四：1)とキリストはおっしゃっている。神を信じ、実りをもたらす愛で家族を築けますように！

テレンス・クックの最後の手紙

テレンス・クック大司教は一九八三年十月六日に亡くなりました。闘病生活の間に、彼はいのちの贈り物の神聖さについて次のような手紙を書いていきます。

友だちである皆さんへ、

私たちは、「いのちの贈り物」、神様から神様の子どもである私たちへの「いのちの贈り物」のことを何度口にするでしょうか。なんとすばらしい言葉でしょう。その言葉にどんなにたくさんの意味が込められているのでしょうか。創世の書に、私たちはこの贈り物の起源について次のように書かれてるのを目にします。『神はご自分にかたどって、人間を

つくりだされた。人間を神のかたどりとし、男と女につくりだされた。』

主が私たちに、「いのちの贈り物」を、誕生から死に至るまで、神のみが与えられるかけがえない贈り物であると深く理解するための特別な恩寵を与えられるのは、重病の時のようないのちが脅かされているまさにその時です。そして、誕生から死までのあらゆる時に、私たちにいのちを与えるのは主である神であり、神によって創造されたものである私たちは、このすばらしい贈り物に対して喜びと感謝の叫び声をあげるべきなのです。私たちは神の姿に似せて造られています。そしてこの事実

によって、「いのちの贈り物」に特別な側面が与えられているのです。私たちが感謝する理由がもつとあるのです。現代において、神の造った人間家族の幸福に災いをもたらす考え、つまり中絶や安楽死や幼児殺しが、我々家族と社会に有益で、さらに道徳的に正しい解決方法であると言われていることは悲劇的なことです。人間のいのちが、都合であるとか望まれないとか、非生産的であるとか、独断的に人間によって作られた基準に満たないとかの観点から、狭い見方で見られることがあります。

心の底から私は、あなたがたにこの生命軽視の、子どもを受け入れない、非人間的な人生観のことに深く考え、毎日罪のない無力なものの計画的な死という結果をもたらしている恐ろしい生命破壊技術に全力で反対していただきたいと思いません。くじけたり、あきらめたりせず、力を合わせて、私たちはこの信念を日常生活や公共機関に示す方法を探らなければなりません。あまりにも多くのことが危うくなっているのです。「いのち

の贈り物」そのものが危険にさらされているのです。

神様からの特別な贈り物である、「いのちの贈り物」は、それが病气や病弱、飢えや貧困、精神的あるいは肉体的障害、孤独や老いを伴っていても美しくことに変わりはありません。実際このような時に、人間のいのちは、私たちの特別なケアや注意や尊敬が必要とされるのでなおさら輝きを増すのです。神が愛の力を表し続けられるのは、最も弱い人間を通してなのです。

全ての人間のいのちの尊厳のために、現在のいのちへの脅威を阻止するために、もう一度惜しみない努力をすることが必要です。貧しい人々や、高齢の人々や、障害を持った人々や、冷遇されている人々や、ホームレスの人々や、苦しんでいる人々や、望まれない人々や、胎児のために、私たちの社会における生命尊重行動計画を増加させ強化しま

しょう。私たちがもう一度中絶反対運動と、社会の最も無力な人々のために働き、その人々を守るうとするならば、そのために必要な教育を施し、教会からのケアを受け、公共の施策を利用するようにあなたがたにお願いします。

病の苦しみを経験している、私の人生の今この時に、いのちを守るための司教としての職務を続ける機会を与えてくださったことに對して、全知全能の神に感謝を捧げます。人間のいのちのためにあなたがたが行なったこと、行なうであろうことに、あなたがた一人一人に感謝をいたします。罪のない人間のいのちが脅かされ、人間の権利が否定されている時に、私たちが無関心に屈したり、無力感を訴えたりすることが決してないよう祈ります。

テレンス・クック大司教



アメリカでひた隠しにされている秘密

この製品を売り込むために、三千万ドルも使った製薬会社からこんな誇張された話をもしくすれば聞くこともあるかもしれません。しかし、普通は監督機関であり、宣伝会社ではないアメリカ食品医薬品局(FDA)が新しい薬の売込に積極的になるときは、アメリカが目覚めるべき時なのです。これは本当にすばらしいニュースであるか、または政府の人口抑制計画を押し進める目的で、国民を操ろうとする新たな試みであるかのいずれかなのです。

ところで、「アメリカでひた隠しにされている秘密」とは何でしょう。か。あのエストロゲン(女性ホルモン)とプロゲステロン(黄体ホルモン)を多量に含んだピル(経口避妊薬)は、「望まない妊娠を防ぐ」ために、「避妊の手段を用いない性交」をした後、72時間以内に集中的に服用できるのです。

それにはどのような効果があるのでしょうか。手短かに言えば、服用する必要がなかった女性に効いたと思っているが、実はその性交で妊娠しなかった(か中絶を引き起こすこと)によって効いたかどちらかです。「モーニングアフターピル(性交後72時間以内に服用する経口避妊薬)」をもっと完璧に理解するために、私たちは一般的に「ピルがどのように効くのかを理解する必要があります。要するに、ピルとは女性の生殖機能が機能不全になるように、

女性の正常なホルモン周期を支配するほどの多量のホルモン剤のことなのです。

本質的に、ピルは女性を妊娠状態にするように意図されています。しかし、その影響を女性の体の他の部分へ及ぼさないようにすることは実際困難なことです。そしてまさにそういう理由で、ピルには非常に多くの副作用があるのです。

避妊薬として、ピルには次の3種類の作用があります。排卵を抑制する。精子の通過を遮断する。子宮頸部の粘液の濃度を濃くする。および、または、子宮内膜に卵子が着床できない状態にして中絶を引き起こす。

従来の高容量ピルは、高い確率で排卵を抑制しました。しかし不要な副作用を減らすために、製薬会社は服用量を下げました。その結果、新しい「低容量」ピルは、排卵を押さえる効果が少なくなり、三番目の作用つまり着床を妨害することによって中絶により依存することになっていくのです。「モーニングアフターピル」は、薬物に誘発された中絶を通しての避妊、という方向への流れを受け継いだものなのです。

ここだけの「まかし」...

そしてホルモン

数十年前、中絶が合法化される前からすでに、医者とピルの製造会社

は、ピルの墮胎的側面は隠す必要があることに気がついていました。どうもなく見積もって、この醜い事実は、避妊は受け入れたけれども墮胎剤には反対するかもしれない多くの他のカトリック教徒ばかりでなく、多くの「善良な」カトリック教徒である産科婦人科医と、そのカトリック教徒の患者をも騒然とさせることとなったでしょう。

一九六十年代の後半においてすでに、人口統制に携わる人々は「妊娠」の「医学的」意味の定義のし直しを始めました。現在医学書において広く用いられているこの新しい定義によれば、「妊娠」は「受精」の時点ではなく、「着床」の時点で発生するのです。この新しい定義によって作り出された論理によれば、もし人間の胎児が着床をしなければ、そもそもそれは「妊娠」したことは決してならず、従って実際問題として中絶されるということは決してないのです。

この歪められた論理は非常にうまくいききました。何千人ものカトリック医師たちは、安堵のため息をつき、処方箋を取り出しました。実際多くの中絶反対のグループでさえ、この欺瞞に警鐘を鳴らそうとはしなかったのです。彼らは、外科手術による中絶というもっと見た目に恐ろしい問題に注意を集中させることに満足している様子でした。それに加え、評論家は中絶反対グ

ループのリーダーの中には、自分たちの後援者への非難ともとられかねない好ましくない真実をあばくことによって、ピルを常用している後援者を怒らせることを恐れたものもいたと主張しました。また、中絶反対グループのリーダーの中には、ピルがいつ排卵抑制剤として働いているのか、いつ墮胎剤として働いているのは決してわからないと答えるものもいました。

知らぬが仏の時には、嘘は常識として受け入れられるのです。

「緊急避妊薬」を 押し進める動き

ピルは墮胎剤としての働きを持っているので、医者はずっと前からそれが「モーニングアフターピル」として使用できることを知っていました。胎児が卵管を下ってきて子宮に着床するのには6、7日かかります。その間にエストロゲンのピルを大量に服用すれば、胎児が着床する前に、子宮の内膜を硬くして中絶を引き起こすことができるのです。

ピルを大量に服用することの危険性はまだテストされていないので、それを「モーニングアフターピル」として使用することは、製薬会社によって認められていない「用法外」のことでした。従って、その結果生じるかもしれないいかなる損害に対しても製薬会社に責任を負わせることはできませんでした。こういっただけで、過去20年間にピルをこのように使ったアメリカ人女性は1パーセントにも満たなかったのです。しか

し、クリントン政権のおかげで、時代は変わりつつあるのです。現政権のもとで、FDAは監督者としての従来の役割を越えて、人口抑制計画の協力者としての役割へと変わってしまったのです。私たちがこの例を目撃したのは、クリントン政権とFDAが、RU-486をアメリカにもっと早急に導入するために、試験基準を引き下げること同意したときなのです。

「緊急避妊薬」への道を広げる努力においても同じ道をたどりました。ウォールストリートジャーナルによれば、一九九五年にFDAは、「モーニングアフターピル」を市販するための申請書の提出を求めるためにジェネティックスのロウドリック・マッケンジー会長に接近しました。この行動のあと、引き続きフェデラルレジスターに、「緊急避妊薬」(EC)としての大量服用ピルの用法外使用を促進するFDAの通達が発せられました。

FDAによるこのお墨付きによって、関係者全体にとって、責任を負わせられる危険性が効果的に低減されました。この奨励に心え、いくつかの家族計画機関が、情報やさらには「EC」の処方を提供するために無料の電話相談サービスを開始しました。FDAが今「安全で効果的な」避妊法と呼んでいるものを無料で広めるために、大々的な新聞記事が作られました。

一九九八年九月までに、FDAからの「ゴサイン」を受け、明らかにさらなる検査を必要とせずに、ジネ

テックスは包装された「緊急避妊薬」の大量生産を始めたのでした。政府の保健関係の役人も、「家族計画連盟」という団体も、その他の普段なら疑問視する人々も、中絶率を「激減」させることが見込まれる生殖健康管理におけるこの「大きな進歩」に対してみんな歓声を上げたのでした。再び、マスコミはこの「出来たばかりの新製品」を数億ドルも提供して、無料でさらに広めたのでした。

現在プリーベンはまだ処方薬ですが、多くの家族計画のクリニックは患者を全く診察せずに医者処方箋を発行してくれるように依頼しています。医者代わりに薬剤師にその薬を処方することを許可している州もあります。

しかしそれでも、すべての薬品棚にその薬を置くことを望んでいる「EC」の主唱者にとっては十分ではないのです。ある「EC」の奨励者は「グッドモーニングアメリカ」という番組で、プリーベンを使うことはアスピリンを使うことと同じくらい簡単なことだと言いましたが一方ワシントンポスト紙は、それは最終的に、「使用量を増加させるために」FDAが処方箋なしで入手可能なものになっている「ニコチンガムやニコチンパッチのような禁煙グッズと同じ位置付けがなされるだろう」と報じました。

嘘つきの販売の仕方

外科手術による中絶と同じよう

に、「緊急避妊薬」の容認は、医学的な嘘つきの成功にかかっています。患者をいくつものやり方でだまし、あやつることが必要なのです。

嘘その1:「ECは非常に効果的である。」

この方法の効果と安全性はまだ完全にテストされていないので、実際の効果はわかっていません。効果の統計的な数値をしつこく求められて、「家族計画連盟」という団体の公報担当者は、「緊急避妊薬」は70%〜90%の効果があると発言しました。示された効果にこのような幅があることが、実際にはどれほど知られていないかについて多くを語っているのです。電話で相談を求める人が、当然の疑問を抱くかもしれないという危険性を減らすために、この同じ公報担当者はあわてて、彼女自身は、ECを利用して患者の中で1、2例の妊娠しか目撃していないので、実際の効果は、これらの控えめに見積もった数値より恐らくずっと高いのではないかといいました。

失敗率が30%までであることはあまり誉められたことではありません。真相はもっとひどいのです。女性には月経周期の中で妊娠する可能性があるのはわずか4日か5日なのです。この日数には、精子が子宮頸部の粘液の中で生きている排卵前の1日か2日が含まれています。この数日間、典型的な女性の28日周期のおよそ18%にしかすぎないのです。このことは、ほとんどの女性は、全く妊娠しないにもかかわらず、恐らく

不必要なECを服用していることになりません。

結果として、「モーニングアフターピル」は80%もの有効性があると言われていることは、女性が全く妊娠しない安全日の結果なのです。これら全ての「成功例」が、「全体的な」有効率を計算するとき分母に入っているのです。従って、排卵期間中の実際の失敗率は、実際には、報告されている「全体的な」失敗率の何倍も高いのです。

これらの事実は、「EC」を促進する人々にとって困ったことでしょうか。いいえ、そうではないのです。妊娠する可能性が全くないときでさえ、女性の不必要な「EC」の使用は、それでも非常に利益を生むのです。さらに、「EC」の販売促進は目玉商品なのです。「EC」を買い求める女性は、他の避妊用品の潜在的な購買者なのです。

嘘その2:「ECは安全だ。」

実際、彼らの意味する「安全」とは、実際には、死者がでていないということだけなのです。ひとたびこの限られた安全性の定義を受け入れてしまえば、「EC」は「安全」なものとなるに違いありません。というのはこの薬によって引き起こされる病気の唯一の共通したすぐに現われる影響は、吐き気と頭痛のようなインフルエンザと同じような症状だからです。

しかしこの数少ない短期の影響以外に、どんな長期的な影響があるかは誰にもわからないのです。どうしてでしょうか。それは「EC」がF

DAの「最もお薦めの薬」のひとつだからなのです。それは検査を免除されているのです。FDAは、短期間に1回、数回この高容量のホルモン剤を服用することは、普通のピルの使用者が長期間低容量のホルモン剤を服用することと同じように無害であるという憶測に満足しているのです。

乳癌はエストロゲンの容量の変化と関係があります。「EC」の使用は、乳癌にかかる割合に影響を与えてでしょうか。誰にもわかりません。避妊用のピルは、それ以後の不妊の問題と関係があります。「EC」は女性が長期間不妊になることに影響があるでしょうか。誰にもわかりません。「EC」が妊娠したばかりの胎児を中絶できなかった時、あるいは胎児がすでに子宮内に着床したのちに女性がこの薬を飲んだ時、エストロゲンを大量に服用することは胎児にどんな影響を与えるのでしょうか。まだ誰にもわからないのです。

次は、わからないということ、中絶に賛成のカウンセラーがどのように自分たちに都合のいいように利用しているかという例です。「モーニングアフターピル」を服用した後女性が妊娠した場合、カウンセラーはその薬が胎児にどんな影響を与えたのかしらという彼女の心配を、彼女が外科手術による中絶を受けるようにプレッシャーをかけるために利用することができるでしょう。

嘘その3:「ECは避妊である。」

このことは、私たちが避妊薬業界

の「着床」が「妊娠」であるという新しい定義を受け入れた場合のみ、正しいのです。たいていの患者はまさに、「受精」と「妊娠」を同じものと考えていて、少なくともそれらの人々の多くが中絶には道徳的に反対しているのです。この区別が重要となるのです。

尋ねることをしないがために、「EC」が妊娠を防ぐという嘘を信じてしまう患者もいるでしょう。また、「妊娠」のふたつの意味を、真実から自分たちを「守る」ためにごまかすカウンセラーによって納得させられる患者もいるかもしれません。

さらに、半分疑いながらも、自分たちの決定に対する道徳的責任を否定できるかもしれないということに願って、いつ「妊娠」が起こるかについてのこの定義の「やりなおし」を心配しながら受け入れる患者もいるかもしれません。しかしこのようになわからないことを願うことはすべからず、自分が責任を負わなければならないという恐怖感を反映しているのです。それは他人が満たさなければならぬ願望ではないのです。親も国家も無責任を助長する道徳的責任を負っていないのです。

もし私たちが道徳的責任を負うつもりならば、真実と向かい合うことができるようにならなければなりません。そうやって初めて、私たちは正直に善か悪かの選択ができるのです。

若者の考え

生命の尊厳

「沈黙の叫び」ビデオ

世の中には、いろんな人がいる。それぞれに個性を持ち誰かが違つて人間であるが、皆、両親から受け継いだ命がある。誰一人としてむだな命などないものである。他人の命を奪うことは罪であり許されることではない。では、現在行なわれている「中絶」はなぜ罪にならないのだろうか。現在の法律によれば5ヶ月までは中絶が許されるという。中絶は母体の安全のため、経済、社会生活上、等という理由が主であるが、胎児はそれによって殺されるのである。私には胎児の気持ちは分からないが、想像もつかないほどの不安と、恐怖があるだろう。とても小さく、弱い胎児は、一番安心できるはずの母親の胎内で、殺されまいと必死で逃げる。しかしその抵抗も空しく、胎児は冷たい機具によってかき出されるのである。私は看護婦になりたい。より多くの患者さんに病気やけがに負けない強い心を持つて欲しい。そして、一人一人の命がどれほど尊いものであるか、生きるといふことがどれほど素晴らしいことであるか考えて欲しい。

中絶とは死である。胎児を殺して誰もうれいはずがない。深い悲しみと傷だけが、いつまでも残るだけである。死んでしまった胎児に、生きる勇気を与えることはできないが、母親に与えることはできる。中絶は、胎児を殺すのだ。どうかが、無事に子どもを産み、母親の手で、あふれる喜びのうちに抱いて欲しいと思う。

F・Hさん「高三生」

絶対に反対

私は妊娠中絶をすることは絶対に反対です。なぜなら、胎児は一人の人間だし、神様が与えてくれたすこく素晴らしい贈り物だと思つてからです。それなのに、子どもがいらないからという単純な理由で中絶するなんて、私は信じられません。そしてそのことで、すこく傷つき苦しむのは女性だけだなんて、とてもひど過ぎると思います。私は今回このビデオを観てからますますこのよふな思いが強くなりました。なぜなら十二週間も自分の胎内で育つた胎児を、こみ

【プロ・ライフニュース】
[101] 1部ご注文.....無料..... + 郵送料

【カラー・パンフレット】
[201] 生か死..... + 郵送料
[202] 第二の処女生..... + 郵送料
[203] デート..... + 郵送料
[204] どうするの?..... + 郵送料
[205] "NO"という技術..... + 郵送料
[206] ティーンの出産コントロール..... + 郵送料
[207] パージンの瀬戸際..... + 郵送料
[208] していましたか..... + 郵送料
[209] 親権限と「10代の性」..... + 郵送料
[210] 貞節のすすめ..... + 郵送料
[211] 中絶行為は女性を解放しない..... + 郵送料

【ポケット・サイズ】
[301] 若い生命「1セット=カード+人形」.....30円 + 郵送料
[303] 国際プロ・ライフ・シンボル・ピン.....200円 + 郵送料
[304] 国際プロ・ライフ・ネックレス.....500円 + 郵送料
[305] 胎児の人権宣言カード.....30枚=100円 + 郵送料

【ビデオ+ 本・日本語】
[401] 沈黙の叫び...(VHS/Beta).....7000 + 郵送料
[403] ビリングス・メソッド.....(VHS/Beta).....7000 + 郵送料
[404] いのちーおくりもの.....(VHS).....13000 + 郵送料
[407] 命美しいもの=one&only.....(VHS).....20000 + 郵送料
[409] 聞こえる?天使の鼓動.....(VHS).....6000 + 郵送料
[410] ビル先道国・英国からの警告...(VHS).....15000 + 郵送料

[500] (本)生命問題に関する...(カトリックの教え)...2987 + 郵送料
[501] (本)自然な家族計画...(ビリングス・メソッド)...1000 + 郵送料
[503] (本)プロ・ライフの旅.....300 + 郵送料
[504] (本)小さな鼓動のメッセージ.....1200 + 郵送料
[505] (本)いのちをみつめて.....500 + 郵送料
[506] (本)命あるすべてのものに(マザー・テレサ).....650 + 郵送料
[507] (本)私の生命を奪わないで.....2300 + 郵送料
[508] (本)いのちの福音.....1500 + 郵送料
[509] (本)小さき生命のために.....1300 + 郵送料
[511] (本)赤ちゃん:最初の十ヶ月...12ページ...100 + 郵送料
[512]本 日本プロ・ライフ・ムーブメントについて.....300 + 郵送料
[513]本 カトリック教会と日本プロ・ライフ・ムーブメント.....500 + 郵送料
[514]本 神様は中絶をどのように言っておられるでしょう.....300 + 郵送料
[515] (本)経口避妊薬:ピル.....100 + 郵送料
[516] (本)いのちの福音と教育.....1470 + 郵送料

のように捨てるなんて..:

私は自分が妊娠しても、一生大きな苦しみを受けるくらいなら、絶対、人工妊娠中絶だけはしたくありません。 N・Eさん「高三生」

思いとどまろう

今回の聖書の時間に観たビデオは、私にはとても強烈でした。以前に保健の授業で、妊娠中絶の方法などを習ったけれども、それはあくまで抽象的なもので、こんなにも具体的な方法までは知らなかったからです。ビデオを観た感想は、私は止む終えない事情、例えば、妊娠中毒症等の病気になった等の場合を除いては、絶対に中絶はしないという気持ちになりました。特に印象的だったのが赤ちゃんのパケツに入られた死体達です。あのシーンも含めた、あのビデオとその前に観たビデオを、今から中絶しようとする人達に見せてあげたいです。

そして、こんなに神秘的な過程を積み重ねて誕生しようとしている小さな生命の火を、途中で消すよう

ことは、どうか思いとどまって下さいと、声を大にして訴えたいです。 O・Mさん「高三生」

分身

胎児のうちに親に見放され、殺された小さな命が一瞬にして消えるのはとても無残に思えました。絶対にはやっぺはならないと思います。子宮内に中絶用の機具が挿入されて、胎児がとても嫌がっていました。一生懸命に逃げていたのを見ると、息がつまる思いでした。精子と卵子の劇的な出会いによって一つの命が芽生え、何日もかけて一人の人間になったのに親の勝手な事情で、行き着く先は死です。ビデオで、中絶が終わった後に放置されている残酷な死骸を見て、とても恐ろしかったです。このビデオは中絶を考えている人全員にぜひ見て欲しいと思います。

そして、胎児は一人の人間であつて、考えたり感じたりすることのできる自分の赤ちゃん、つまり分身であるということをも十分に理解して欲しいと思います。 H・Kさん「高三生」

[511] 赤ちゃん:最初の十ヶ月の旅

[515] 経口避妊薬:ピル

注文:	1	-	-	-	-	5	1部 = ¥	100
	6	-	-	-	-	20	1部 = ¥	75
フルカラー	2	1	-	-	-	999	1部 = ¥	50
	1	0	0	0	-	以上	1部 = ¥	35

性教育の材料として、学校、教会、家族、産婦人科

パンフレット申し込は・・・

1	～	～	5	1部 =	35円
6	～	～	100	1部 =	25円
101	～	～	500	1部 =	20円
500	～	～	以上	1部 =	15円

自由です
組み合わせは

17才の考え

「もし私が17才で処女でなくなったら、結婚相手と出会うまでに何人の男性とベツトを共にすることに成るでしょうか。」

秋の夜中の二時は、神経が衰弱した人間にとって何よりもいい時間だと思ひます。私の枕は濡れ、マスカラは涙で鼻や頬にまで広がっています。水をはじくマスカラだと言つけれど、ときには人生の挫折が防水効果をなくさせるほどひどいこともあるのです。「失恋者用のマスカラ」を売つてはいかがでしょうか。そうすれば、少女は、サッカーのヒーローに、自分のせいでふられても、魅力的な姿のまま、その場から去つて行くことができるから。

私達は恋人として付き合つて、もう三ヶ月になります。でも、三十分前あなたが車で走り去つた時、あなたの男性としてのプライドは傷つき、私は恋が終わつたことがわかりました。あなたは多くを言わなかつたけれど、きつとあなたはもう私に電話をしてこないでしょう。「フエイ、僕はきつと我慢してきたんだ。でも、三ヶ月は長すぎるよ。僕は……」と、あなたは言いました。セックスに心しない女の子とデートするには三ヶ月は本当に長い時間だつたでしょう。私達の間に親密になり、お互いを好きになればなるほど、しだいにプレッシャーが大きくなつてきました。少なくとも、あなたは私を三ヶ月悩ませるほど素敵な人でした。

でも、永遠にデートをしないわけではないのです。人が何と言つても、処女の子とデートをしてくれる男の子はたくさんいるわ。結局、私はまだ17才、あなたは18才、二人ともまだ「セックスしなきゃならない」年代じゃないわ。リチャード、私にだつて電話をかけてくる男の子はいるのよ。あなたほどのスーパースターではないけれど。

あなたは魅力的で頭がよくて、昨シーズンのサッカーリーグを引っぱつてきたから、当然女の子は自分とセックスしたいと思つていたのでしよう。それにあなたにそうしてあげたがっていた女の子を何人も知つてるわ。なのに、なぜ私がそう思わないのかは、説明しにくいことなのです。

あなたの車の中で、エンジンをつけたまま怒つた目で見られながら座つていて、セックスをしたいと思わないことが愚かだという気がしました。それでも、そうしたくない理由がたくさんあるのです。

あなたはそんなことはばかげた理由だと言つてでしょう。私も今夜そう思つています。でも、明日になればまた、もっともな理由に思えることでしょう。

私がカトリック教徒だから？とあなたは尋ねました。私は私の宗教を、神を信じています。そして、私が人生に對する、きちんとした考え方が持てているのは、信仰のおかげだと信じています。私は敬虔なカトリック教徒でありたいと思います。でも、あなたは宗教を持たないから、わかってくれないのです。

ほかにどんな理由があるのでしょうか。ある意味で、私の世代は無神経になつていけるのです。性の「革命」は、もはや革命的なことではないのだから、私たちは巻き込まれないように、一歩下がつて、その結果をよく見ればいいのです。率直に言つて、私が目にして居ることは好きになれません。「性の革命」に加わつてきた私の友達や家族を見て、その後彼らは幸せに暮らしました」と私が言うことができれば、私の信仰は変わるかもしれない。私はあの暖かい車の中で今頃あなたの腕に抱き締められているかもしれないです。でもリチャード、そこには幸せがほとんどないのを見て、その気が失せてしまったのです。

私の姉のルースは19才の時、一年間ボーイフレンドと一緒に暮らしたことがありません。その後別れて、彼女は彼女のことです。よく傷つき、私には絶対に同じことにならないようにと言いました。

彼女が私に忠告する必要などなかつたのです。私には姉が苦惱している姿を見ることができたから。でも、彼女は妊娠しなかつたのです。彼女が妊娠して捨てられていたらと想像してみてください。彼女は、シングルマザーになつて、赤ん坊やルームメイトや高い家賃のやり繰りに悪戦苦闘しているかもしれないのです。そうして彼女の魅力的な独身生活はずつと前になくなつていってしまう。

彼女はまだ結婚していません。あのことで彼女はひどく傷つき、結婚に對する彼女の考えが歪んでしまつたのだと私は思っています。

ここでベツトに横になつていて、ほかにどんな理由が心に浮かんでくるでしょうか。たくさんあります。私達の世代は手軽にセックスすることが原因で、ヘルペス、エイズ、性病、中絶などの恐ろしい結果を引き起こしている例をたくさん見ています。六十年代にさかのぼれば、十代の若者があまり心配する必要はなかつたことなのです。今日では女の子が処女を失つと、友達などは、「もう彼女は誰とでもできる資格ができたわよ。」と冗談を言います。エイズにかかれば、セックスが原因で死ぬことになるのです。そうすると、「手軽なセックス」は手軽なものではなくなつて居るのです。

私はヘルペスに罹つた人を個人的には誰も知りませんが、姉の友達の中には、とても素敵だと思つていた男の子からうつされたのです。彼女の二番目の相手だつたそうなんです。ヘルペスのせいで、今、彼女は大変な人生を背負つたことになつたのです。彼女と結婚したいという男性が現われて、子どもを妊娠した時、もしヘルペスが活動期であれば、帝王切開で子どもを産まなければならぬでしょう。これらすべてのことを知ると、女の子は考へてしまつたのです。

リチャード、処女を守りたいという理由があります。もし今夜関係を保持していたら、何の約束も基本原則もない、無責任な関係となつたでしょう。そのような関係は、どのくらい続くでしょうか。六ヶ月、それとも一年。でも、永遠にではないことは確かなことです。なぜって、二人とも結婚するなんて考へていないからです。

私の仲の良い友達二人も今、そんな関係で、全く何の約束もしていないのです。そしてそのような関係に、連鎖反応が起きます。その関係が終わると、彼らは誰か他の人のベツトへ移つて行くのです。私は二度目の純潔というのを聞いたことがありません。それは、処女や童貞でなくなると、それを後悔し禁欲主義になつていくことなのですが、そういうのは稀なことです。もし私が17才で処女でなくなれば、結婚する人と巡り逢うまでに何人の男性とベツトを共にすることになるでしょうか。

私は誰かの手ごころなセックスの相手にはなりたくありません。私を捧げるのは、結婚の時にしたいと思ひます。私は誰かにとつての一生の恋人で、その人にとつては、いなくては生きていけない人になりたいので

す。私は単なる肉体関係は欲しくありません。そのような関係は、誰でも持つことができません。私は、同じ人と情熱的で、献身的な50年の恋愛がしたいのです。それが、よく詩のテーマになるのです。エリザベス・バレット・ブラウニングは、「あなたをどのように愛しましょうか。愛し方を数えてみましょう。」と書いています。しかし彼女は「あなたとどのような関係を持ちましょうか。関係の仕方を数えてみましょう。」とは書いていません。

私は詩や花やダイヤモンドの指輪や子ども達や二人の歴史を持ちたいのです。そして、「その後ずつと幸せに暮らしました」で終わる二人の歴史が欲しいのです。

今、夜中の三時です。だいぶ気分がよくなつてきました。今夜あなたにこのことを全部言えばよかったのでしょう。でも、少なくとも、私の心の中にあるものをリプレイすること、私達の間は終わったんだという事実を受け入れる用意がもつてきました。明日は鼻のマスカラをきれいに拭いて、新しい人生を始めましょう。

学校のパーティーであなたに会うでしょうか。あなたと一緒にいるのは誰でしょうか。誰か他の人と話するのにならなくなって、私が楽しい時を過ごしているふりをすれば、私の心は傷つくでしょうか。

リチャード、私はあなたを失つてしまつたけれど、自立心と自尊心と素朴で質素な生き方をずつと持ち続けています。明日、私の目は腫れていても、私の未来は、誰にも縛られることなく、自由に生きられるのです。だから、結局、私は敗北者ではないのだと思ひます。

貞潔こそ本当の愛

なぜ貞潔がそんなに大切なのでしょうか？

なぜ本当の愛をみつけるのに、貞潔が関係あるのでしょうか？

貞潔が大切である理由は沢山あります。それは、私達と神との関係を、そしてお互いの関係を守るから大切なのです。貞潔とは、愛に飢えたこの世界で本当の愛をみつけるたった一つの方法であると私は信じています。性的魅力とは、飢え

や怒りと同じ様な、人間の本能的衝動に訴えるものです。人の本能的衝動は、それ自身では本当の愛をわかせる事はできません。本能的衝動は、ただ「欲しい時に欲しいものが欲しい」だけです。例えば、空腹時にピザを見たら、あなたの本能的衝動としては手を伸ばし、そのピザを掴んで食べたいでしょう。「今私はレストランにいて、そのピザは他の人のテーブルの上にある。」と教えてくれるのは、あなたの脳です。

本能だけでは、ピザをとってしまうのは褒められた事ではないとわからないのです。それを知るには脳が必要です。しかし、もしあなたの本能的衝動が言う事を聞かなければ、脳もあまり効果はありません。脳と意思が、本能的衝動よりも強くなければならないのです。

それはさまざまな場面に当てはまります。もしあなたが怒りを感じたら、あなたの怒りの本能的衝動は、誰かを殴りたくなるかもしれません。その時、「イエスカノーカ」を言うのは脳なのです。そして、もしあなたの性の本能的衝動が、「ああ、今セックスしたら楽しいだろうな。」と言ったら、「ノー」と言うのは脳なので

す。愛する事を決めるのは本能ではなく、脳と意思なのです。

「貞潔でいる」というのは自分をコントロールする事です。それは本能的衝動を脳の支配下に置くという意味です。すなわち、貞潔とは、本能的衝動が「イエス!!!」と叫んでいる時でも、「ノー」と言えるという意味なのです。

貞潔は別の方法で、愛を探す手助けをしてくれます。貞潔であれば、ふさわしい人とふさわしい行動を認識する事ができるので

「貞潔なデート」とは、その相手と性的交渉を含まない建設的な時間を過ごし、相手を知り、話をして楽しく時間を過ごす事です。その人がそれぞれの状況にそれぞれどのような反応をするのか、そして二人は相性がいいのかどうかを知る事なのです。

貞潔とは、セックスによ

る感情的なつながりを認めない事です。それはあなたがその人に性的に魅かれていないという意味ではありません。ただあなたがその魅力の力をコントロールして、乗せられないという事なのです。

もし二人の関係が正しければ、その内何か微妙なものが育ち始めるでしょう。その感情や認識は最初はほとんど気が付かないかもしれませんが、あなたが見て「あなたが愛しています。あなたが私の愛する人だとわかります。セックスに流されていないから、しっかりと他の面も考えて、あなたを愛していることが解ります。」と言えるようになるまで、着実に育っていくことなのです。

マリー・ボナツィ